

◆特定共同研究（A）（研究期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画等のプロジェクトへの、全国の研究者の参加支援）

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2017-A-01 (1502)	安田 敦	東京大学・地震研 究所	企画部	揮発性成分定量による活火山爆発 力ポテンシャル評価とマグマ溜まり 深度の再決定	報告書
2	2017-A-01 (1202)	三浦 哲	東北大学・大学院 理学研究科	企画部	蔵王山周辺の総合観測	報告書
3	2017-A-01 (1509)	小原 一成	東京大学・地震研 究所	企画部	プレート境界すべり現象モニタリ ングに基づくプレート間カップリ ングの解明	報告書
4	2017-A-01 (1511)	鶴岡 弘	東京大学・地震研 究所	企画部	地震活動に基づく地震発生予測検 証実験	報告書
5	2017-A-01 (2501)	長尾 年恭	東海大学・海洋研 究所	企画部	電磁氣的地震先行現象の観測と統 計評価による他種の先行現象との 比較	報告書
6	2017-A-02	末次 大輔	海洋研究開発機 構・地球深部ダイ ナミクス研究分野	歌田 久司	地球深部の構造とダイナミクス	報告書
7	2017-A-03	小原 一成	東京大学・地震研 究所	田中 愛幸	スロー地震学	報告書

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

◆特定共同研究(B) (研究期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(全国的な規模のグループが実施する、地震予知・噴火予知計画等の事業費に基づかないプロジェクトで将来事業化を目指す計画)

No.	課題番号	新規 継続	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2015-B-01	最終 年度	小菅 正裕	弘前大学・大学院理工学研究科	前田 拓人 小原 一成	地震波形解剖学の計算科学的新展開	報告書
2	2015-B-02	最終 年度	小澤 拓	防災科学技術研究所・観測・予測研究領域	青木 陽介	新世代合成開口レーダーを用いた地表変動研究	報告書
3	2015-B-04	最終 年度	桑谷 立	海洋研究開発機構・地球内部物質循環研究分野	長尾 大道	機械学習によるプレート境界岩の高次元地球化学データ解析	報告書
4	2016-B-01	継続	川勝 均	東京大学・地震研究所	歌田 久司	太平洋アレイ (Pacific Array)	報告書
5	2016-B-03	継続	市原 美恵	東京大学・地震研究所	市原 美恵	火山の空振モニタリング技術の確立	報告書
6	2016-B-04	継続	田中 宏幸	東京大学・地震研究所	田中 宏幸	グローバルミュオグラフィネットワークの構築 /Establishment of Global Muography Network	報告書
7	2016-B-05	継続	平賀 岳彦	東京大学・地震研究所	平賀 岳彦	地殻・マントル物性を明らかにするための実験基準試料の合成とその配布	報告書
8	2016-B-07	継続	波多野 恭弘	東京大学・地震研究所	波多野 恭弘	地震断層の応力摂動に対する鋭敏性：その素過程	報告書
9	2016-B-08	継続	名和 一成	産業技術総合研究所・地質情報研究部門	今西 祐一	重力測定技術の高度化と新技術の活用による地球変動観測	報告書
10	2016-B-09	継続	松島 健	九州大学・大学院理学研究院	加藤 照之	GNSSを用いた大規模・稠密な地殻変動キャンペーン観測研究	報告書
11	2016-B-11	継続	伊藤 耕介	琉球大学・理学部	福田 淳一	固体地球科学のシミュレーションモデルと観測データに適用可能なデータ同化法の開発	報告書
12	2016-B-12	継続	新谷 昌人	東京大学・地震研究所	新谷 昌人 加藤 照之	高精度ひずみ観測ネットワークによる地殻活動モニター	報告書

No.	課題番号	新規 継続	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
13	2016-B-13	継続	木戸 元之	東北大学・災害科学国際研究所	望月 公廣	ヒクランギ沈み込み帯スローリップ発生領域におけるプレート境界面運動のモデリング	報告書
14	2017-B-01	新規	亀田 正治	東京農工大学・大学院工学研究院	市原 美恵	マグマ破壊シミュレーション手法の開発	報告書
15	2017-B-02	新規	林 直人	東京大学・医学部附属病院	田中 宏幸	医用画像コンピュータ自動検出/診断 (computer assisted detection/diagnosis) 技術のミュオグラフィ画像解析への応用	報告書
16	2017-B-03	新規	木村 尚紀	防災科学技術研究所・地震津波防災研究部門	平田 直	首都圏地震観測網 (MeSO-net) を使った地震活動・プレート構造の研究	報告書
17	2017-B-04	新規	森島 邦博	名古屋大学・大学院理学研究科	田中 宏幸	原子核乾版によるミュオグラフィ技術の高度化	報告書
18	2017-B-05	新規	井上 邦雄	東北大学・ニュートリノ科学研究センター	田中 宏幸	ニュートリノの到来方向情報を持つ大型検出器による地球深部理解	報告書
19	2017-B-06	新規	佐藤 比呂志	東京大学・地震研究所	佐藤 比呂志 石山 達也	沈み込み帯上盤プレートの変形モデルの構築	報告書

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

◆**特定共同研究(C)** (研究期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日)
(地震研究所が特別に認めた、共同利用経費以外の資金によって運営される共同研究プロジェクト)

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2017-C-01	地震火山噴火予知研究推進センター長	東京大学・地震研究所	地震火山噴火予知研究推進センター長	防災研究フォーラムによる地震火山研究の推進	-

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

◆一般共同研究（研究期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日）
 （所内外の研究者からなる少人数のグループで協力して進める共同研究）

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2017-G-01	安東 淳一	広島大学・大学院理学研究科	中井 俊一	破碎岩中に存在する地殻流体の系統的研究	報告書
2	2017-G-02	生田 領野	静岡大学・大学院理学研究科	加藤 照之	稠密GPS観測に基づく東海地方下の歪場と、地殻内の弾性／非弾性物性分布の解明	報告書
3	2017-G-03	石橋 秀巳	静岡大学・理学部	安田 敦	斜長石斑晶の元素拡散プロファイル解析に基づく、富士山のマグマ噴火タイムスケールの検討(その2)	報告書
4	2017-G-04	石原 靖	海洋研究開発機構・地震津波海域観測研究開発センター	竹内 希	南鳥島における広帯域地震観測：伊豆小笠原海溝域から小笠原海台における地震活動の実像の把握	報告書
5	2017-G-05	内田 直希	東北大学・大学院理学研究科	小原 一成	西南日本における様々なスローすべり現象の相互作用の研究	報告書
6	2017-G-06	長谷中 利昭	熊本大学・大学院先端科学研究部	安田 敦	阿蘇-5マグマの探求：後カルデラ噴出物に含まれる鉱物中のメルト包有物の分析	報告書
7	2017-G-07	小野 重明	海洋研究開発機構・海洋掘削科学研究開発センター	三部 賢治	沈み込み帯において炭酸塩鉱物に固定された二酸化炭素のマッピングに向けた電気伝導度測定	報告書
8	2017-G-08	穀山 涉	産業技術総合研究所・工学計測標準研究部門	新谷 昌人	広帯域地震計の感度の振動加速度一次標準による校正	報告書
9	2017-G-09	後藤 章夫	東北大学・東北アジア研究センター	平賀 岳彦	溶岩流試料の室内実験による粘性係数測定と、野外観測値との比較に基づく、溶岩流流動機構の解明ーその5：伊豆大島三原山溶岩流の特異性に着目してー	報告書
10	2017-G-10	嶋野 岳人	常葉大学・大学院環境防災研究科	安田 敦	噴出物記載継承のためのテフラ試料の定量的記載法の確立	報告書
11	2017-G-11	杉山 浩平	東京大学・大学院総合文化研究科	金子 隆之	富士山宝永噴火により罹災した建築物の復元的研究	報告書
12	2017-G-12	鈴木 岳人	青山学院大学・理工学部	亀 伸樹	熱・流体・空隙生成相互作用が生じる相転移による地震活動の統一的理解	報告書

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
13	2017-G-13	鈴木 由希	早稲田大学・教育・総合科学学術院	安田 敦	新期榛名火山のカルデラ噴火前後のマグマ供給系進化	報告書
14	2017-G-14	藤 浩明	京都大学・大学院理学研究科	清水 久芳	西太平洋広域磁場観測網データに基づく地磁気永年変化予測	報告書
15	2017-G-15	中西 一郎	京都大学・大学院理学研究科	西山 昭仁	「みんなで翻刻」ソフトを用いた地震研究所所蔵地震史料の調査・研究	報告書
16	2017-G-16	中東 和夫	東京海洋大学・大学改革準備室	蔵下 英司	豊後水道水ノ子島での地震観測2：地震学的ノイズレベルの把握	報告書
17	2017-G-17	野口 里奈	東京工業大学・理学院	青木 陽介	GNSS観測による草津白根山のマグマ-熱水供給系の描像	報告書
18	2017-G-18	村瀬 雅之	日本大学・文理学部	青木 陽介	精密水準測量による箱根火山浅部の圧力源と熱水活動の解明	報告書
19	2017-G-19	山口 覚	大阪市立大学・大学院理学研究科	上嶋 誠	並列する活断層群の地下比抵抗構造と各断層の活動性との関係を明らかにする研究	報告書

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

◆研究集会（研究期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日）
 （全国の研究者が地震・火山関連分野のテーマについて集中的に討議する研究会）

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	開催日	報告書
1	2017-W-01	熊谷 一郎	明星大学・理工学部	市原 美恵	ネオ・キッチン地球科学：教養教育のための「考える地学実験」とは？	平成29年8月1日	報告書
2	2017-W-02	栗田 敬	東京大学・地震研究所	森田 裕一	伊豆大島・三宅島火山噴火、過去の事例から将来への展望	平成29年12月25・26日	報告書
3	2017-W-03	鈴木 雄治郎	東京大学・地震研究所	鈴木 雄治郎	火山現象のダイナミクス・素過程研究	平成30年2月13日	報告書
4	2017-W-04	高田 陽一郎	北海道大学・大学院理学研究院	青木 陽介	地表変動メカニズムの解明に向けた新世代SARの活用	平成29年12月18～20日	報告書
5	2017-W-05	高橋 努	海洋研究開発機構・地震津波海域観測研究開発センター	古村 孝志	海洋－固体地球システムにおける波動現象と構造不均質性	平成29年9月26・27日	報告書
6	2017-W-06	戸谷 友則	東京大学・大学院理学研究科	大久保 修平	地震・火山現象を含む学校地学教育の現状とそのイノベーション	平成29年11月11・12日	報告書
7	2017-W-07	廣瀬 仁	神戸大学・都市安全研究センター	小原 一成 加藤 愛太郎	スロー地震の発生メカニズムを探る：観測・調査・実験・理論・モデリングからの情報の統合化と巨大地震との関連性の解明を目指して	平成29年9月19～21日	報告書
8	2017-W-08	堀 高峰	海洋研究開発機構・地震津波海域観測研究開発センター	波多野 恭弘	数値・室内実験と観測データから探る地震活動の物理	平成30年2月19日	報告書
9	2017-W-09	森下 知晃	金沢大学・理工研究域	山野 誠	海溝海側で生じる過程総合研究：沈み込み帯インプットの実態解明に向けて	平成30年3月26・27日	報告書
10	2017-W-10	山口 覚	大阪市立大学・大学院理学研究科	上嶋 誠	地球内部電磁気現象研究の学際的研究分野への展開	平成30年1月9・10日	報告書
11	2017-W-11	山田 真澄	京都大学・防災研究所	鶴岡 弘	地震のリアルタイムモニタリングと予測情報の利活用	平成30年1月11・12日	報告書

※注 研究組織の所属、研究集会名等は、申請時と異なっている場合があります。

◆地震・火山噴火の解明と予測に関する公募研究（研究期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画のうち、「1.地震・火山現象の解明のための研究」、「2.地震・火山噴火の予測のための研究」に関連する新規研究課題）

No.	課題番号	代表者名	所属機関	継続/ 新規	担当教員	研究課題	報告書
1	2017-Y- 内陸1	松本 聡	九州大学・大学院 理学研究院 地震 火山観測研究セン ター	継続	企画部	短波長不均質構造推定による 地震動即時予測高度化へ向け た試験的研究	報告書
2	2017-Y- 内陸2	伊藤 高敏	東北大学・流体科 学研究所	新規	企画部	南アフリカ大深度金鉱山にお ける100m級断層の強度直接測 定	報告書
3	2017-Y- 火山1	和田 恵治	北海道教育大学・ 旭川校	継続	企画部	高頻度爆発的噴火履歴の摩周 火山におけるマグマ供給系と 噴火過程	報告書
4	2017-Y- 火山2	石崎 泰男	富山大学・大学院 理工学研究部（理 学）	継続	企画部	草津白根火山白根火砕丘群の 完新世噴火履歴の解明	報告書
5	2017-Y- 火山3	楠本 成寿	富山大学・大学院 理工学研究部（理 学）	継続	企画部	富山県弥陀ヶ原火山・地獄谷 内での高精度地形測量と水準 測量による地盤変動と地表お よび地中温度の計測モニタリ ング	報告書
6	2017-Y- 火山4	大場 武	東海大学・理学部	新規	企画部	地球化学的観測手法を用いた 箱根山等における熱水系の構 造解明、地震活動評価、およ び火山ガスの化学的連続観測 技術の高度化	報告書
7	2017-Y- 火山5	伴 雅雄	山形大学・理学部	継続	企画部	蔵王山、五色岳活動期のマグ マ進化過程解明に関する研究	報告書
8	2017-Y- 先行1	織原 義明	東京学芸大学・教 育学部物理科学分 野	新規	企画部	宏観異常現象の検証-漁獲量と 地震との関係を中心に-	報告書
9	2017-Y- 先行2	上田 誠也	東京大学・地震研 究所	新規	企画部	多種の地震活動度解析による 大地震先行的地震活動変動の 検知	報告書
10	2017-Y- 先行3	鴨川 仁	東京学芸大学・教 育学部	継続	企画部	地震先行VLF帯電磁波強度減少 の統計的評価と発生メカニズ ムの解明	報告書
11	2017-Y- 史料・考古 1	蝦名 裕一	東北大学・災害科 学国際研究所 人 間社会対応研究部 門 災害文化研究 分野	新規	企画部	明治前期における自治体から の地震・津波報告の研究—帝 国大学理科大学の調査から—	報告書
12	2017-Y- 史料・考古 2	林 晋	京都大学・大学院 文学研究科	継続	企画部	古地震のウェブを目指して～ GIS機能をもったポータルサイ トと翻刻アプリの融合	報告書

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。

◆高エネルギー素粒子地球物理学公募研究（研究期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日）
 （高エネルギー素粒子地球物理学に関連する技術開発研究課題）

No.	課題番号	代表者名	所属機関	継続/ 新規	担当教員	研究課題	報告書
1	2016-H-1	末永 弘	電力中央研究所・地球工学研究所	継続	田中 宏幸	孔井内ミュオグラフィ観測装置の開発を目指したミュオンセンサーのダウンサイジング	報告書
2	2016-H-3	宮本 英昭	東京大学・総合研究博物館	継続	田中 宏幸	移動ロボット搭載小型ミュオグラフィ観測装置の開発	報告書
3	2016-H-4	田中 宏幸	東京大学・地震研究所	継続	田中 宏幸	可搬型ミュオグラフィ観測装置の鉄道、高速道路橋梁等コンクリート適用可能性の技術的検討	報告書
4	2017-H-1	大城 道則	駒澤大学・文学部	新規	田中 宏幸	ピラミッド等の歴史的建造物の三次元デジタル計測とミュオグラフィの統合観測による内部構造可視化技術の高度化	報告書
5	2017-H-2	佐藤 宏道	大阪大学・大学院医学系研究科	新規	田中 宏幸	人の視覚イメージの形成・受容に基づくミュオグラフィの可視化表現技術の高度化	報告書
6	2017-H-3	内山 泰伸	立教大学・理学部	新規	田中 宏幸	Compact Muon Solenoid (CMS) シリコントラッカーを応用した小型ミュオグラフィ装置のデザインプロジェクト	-
7	2017-H-4	多米田 裕一郎	神奈川大学・工学部	新規	武多 昭道	汎用宇宙線計測用信号読出電子回路の開発	報告書

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります。